



**みなとラグビースクール**

**Partnership Program**

**- ご案内 -**

2012.3

**NPO法人みなとラグビースクール**

# MRSのご紹介

みなとラグビースクール (MRS) は、2010年4月18日 (日) に  
港区立青山小学校・人工芝校庭において第1回目の活動がスタートしました。



MRS設立の背景は、2009年2月に港区と財団法人日本ラグビーフットボール協会 (JRFU) の「連携協力に関する基本協定」締結に端を発します。

また、2009年11月にホームグラウンドである港区立青山小学校・校庭が人工芝になった事で校庭でラグビーが出来る環境が整い、港区立青山小学校長 (当時) からJRFUに対し、「秩父宮ラグビー場に一番近い小学校」として、子供たちがラグビーに接する機会を増やして欲しいとの要請があり、青山小学校・人工芝校庭の定期優先利用が許可されました。

その結果、第1日曜日午前には港区教育委員会・JRFU主催の「青山タグラグビー教室」が開校。その他の日曜日午前に、ラグビースクールの開校が決定し、MRSが誕生しました。

こうした背景を受け、当時、JRFU普及育成委員の黒崎祐一氏 (MRS校長) と港区議会議員の七戸じゅん氏 (MRS代表) が発起人となり、地元・青山に密着したラグビースクールを設立する為、JRFU普及育成委員会 (当時) のバックアップを頂き、双方の人脈をフル活用して運営と指導を両立させるべく、賛同を頂ける方を募りました。

2011年2月に設立準備委員会が発足。

4月18日の開校式に向け、運営理念や活動方針の制定や、スクールマークやジャージデザインといった細部に渡る検討を重ねて、今日のMRSの土台を作りました。



MRSは、港区とJRFUが掲げる「地域に根ざした取り組み」の一翼を担い、この恵まれた環境を最大限に生かし、国際性豊かな地域社会の活動拠点となって、次代を担える健全な子供たちを育成してまいります。

## 目的

港区及び財団法人日本ラグビーフットボール協会が、互いに有する資源を活用し、積極的に連携協力することにより、地域社会におけるスポーツの発展及び健全育成に寄与する。

## 運営理念

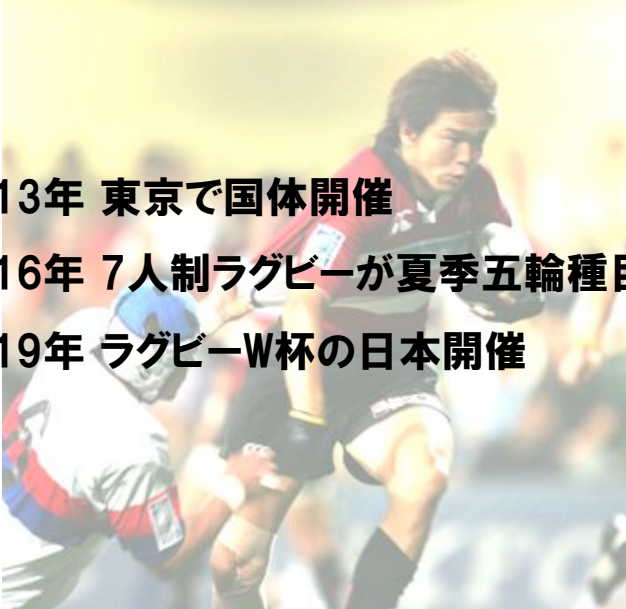
港区及び財団法人日本ラグビーフットボール協会が、互いに有する資源を活用し、積極的に連携協力することにより、地域社会におけるスポーツの発展及び健全育成に寄与する。



# MRSのご紹介

## 設立の背景

2013年 東京で国体開催  
2016年 7人制ラグビーが夏季五輪種目に  
2019年 ラグビーW杯の日本開催



地元を活性化して世界の方々を迎えたい

この場所から世界で戦える人材を輩出していきたい

# MRSのご紹介

## 活動内容

### 港区をラグビータウンにするために・・・

#### スクール

ラグビーの良さを広めラグビー人口を拡大

ラグビーの精神

**責任**  
(Responsibility)

ひとりひとりが責任ある  
行動を求められる。

**信頼**  
(Trust)

ひとつのボールをつなぐという  
行為に込められた信頼。

**勇気**  
(Courage)

どんな難敵にも立ち向かっていく  
勇気ある姿勢。

**決断**  
(Decision)

瞬時の決断力・判断力が  
ゲームを決める。

**連帯**

(One for All, All for One)

ひとはみんなのために、  
みんなはひとりのために。

**誠実**

(Fair play)

正々堂々としたプレー。  
ラグビーの基本精神。

#### アカデミー

オリンピック出場人材を育成



毎春・毎秋の  
ふれあい大会

TOPリーグへの送客  
(町をあげての応援)

港区の中学校に  
ラグビー部をつくるお手伝い  
(トップリーグの選手を派遣)

理事長などによる  
港区でのスポーツ振興を  
テーマとした講演

地元企業様との連携

(一流選手からの運動法指南、ゴミ拾いイベントなど)

地元商店街でのアフターマッチファンクション

(試合後の両チームの親睦会や、ファンとの交流会を地元飲食店で)



応援をお願いします！



協賛(一口) 5万円

公式WEBサイトにバナーを掲出いたします  
※2012年4月 ~ 2013年3月

